

授業科目名： 肢体不自由教育総論	教員の免許状取得のため の 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：徳永亜希雄 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)	養護学校（現：特別支援学校）元教員		
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める科目区分	特別支援教育領域に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	心身に障害のある幼児，児童又は生徒の心理，生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児，児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		
<p>「学位授与の方針」との関係 本科目は，特別支援教育の科目であり，星槎大学の学位授与の方針（A から F）を満たしている。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ 本授業では，肢体不自由のある幼児児童生徒の特性や，現在の学びの状況及び歴史，原因疾患の概要，実際の指導に関する内容を概観し，教育的かかわりのために必要な基本的な知識の理解と態度の育成を図ることを目標とする。肢体不自由のある幼児児童生徒本人及び指導に関する内容を理解し，自らの言葉で説明できるようになった上で，肢体不自由児への教育指導に対応する能力と態度を身につけることを目指す。</p>			
<p>授業の概要 肢体不自由のある幼児児童生徒の教育実践のためには，肢体不自由児本人及び指導に関する内容について理解しておく必要がある。そのために本授業では，まず肢体不自由児の特性，現在の学びの状況，これまでの教育の歴史について学修する。次に，原因疾患の概要とそのことに基づく指導上の配慮について学修する。最後に，それらの理解の上で，実際の肢体不自由児への指導の在り方について学修を深めていく。</p>			
<p>授業計画 第1回：肢体不自由児の概要 第2回：肢体不自由児の運動機能の特性 第3回：肢体不自由児に関する運動機能以外の特性 第4回：肢体不自由児の現在の学びの状況 第5回：肢体不自由教育の歴史 第6回：肢体不自由原因疾患の概要の理解と指導①—脳原性の疾患— 第7回：肢体不自由原因疾患の概要の理解と指導②—筋原性の疾患— 第8回：肢体不自由原因疾患の概要の理解と指導③—脊椎脊髄性及び骨系統の疾患— 第9回：肢体不自由児への指導と教育課程，個別の指導計画及び個別の教育支援計画 第10回：肢体不自由児への教科指導 第11回：肢体不自由児への自立活動の指導 第12回：肢体不自由児への指導の実際①～身体の動きの指導</p>			

第13回：肢体不自由児への指導の実際②コミュニケーションの指導

第14回：肢体不自由児への指導における補助具，補助的手段，コンピュータ等の活用

第15回：肢体不自由児へのキャリア教育と進路指導

定期試験

教科書

(1) 杉野学・長沼俊夫・徳永亜希雄 編著 『特別支援教育の基礎』 大学図書出版 2018年  
ISBNコード 9784907166892

(2) 川間健之介・長沼俊夫 編著，『新訂 肢体不自由児の教育』 放送大学教育振興会  
2020年 ISBNコード 9784595321719

参考文献

(1) 文部科学省 『特別支援学校教育要領・学習指導要領』 及び解説 最新版

(2) 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 『障害のある子供の教育支援の手引～  
子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～』，2021年

(3) 文部科学省 『小学校，中学校，高等学校学習指導要領』 及び解説 最新版

学生に対する評価

レポート評価（50%），科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。